

# 学級活動指導案

令和元年 11 月 8 日（金）パワーアップタイム・5 校時（13:40～14:45）5 年 2 組教室

指導者 原田 香織

## 1 題材名 「『南小よい子の約束』お掃除バージョンアップ大作戦～心をこめて、そうじをしよう～」

## 2 題材観（児童の実態を含む）

本題材は、小学校学習指導要領特別活動の学級活動の内容「(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解」に関わるものである。

研究協力校では、家庭や地域社会との連携を密にしてキャリア教育に努めている。また、コミュニティ・スクール推進校として、保護者や地域の人々によるスマイルサポーターと称した各種ボランティア活動が充実している。他にも農業体験や伝統芸能教室などプロから学ぶ授業も多く行われており、子供たちにとって様々な人々と関わる機会が豊富である。様々な教育活動や体験活動に恵まれる一方で、活動に行事的な意味合いが強くなり、児童への動機付けが弱く、児童の主體的な態度に結び付いていないまま活動が行われているという課題点も挙げられる。各家庭においても、生活経験や社会経験が少なくなっている中で、活動の中で自分にできることを考え、自分のこととして主体的に活動に参加していけるよう教育活動全体において、指導していく必要がある。研究協力校では、「南小よい子の約束」（み：みんなにあいさつをしよう。な：なかまはずれをしないで遊ぼう。み：みんな手をあげ、考えを言おう。の：残さず好ききらいなく、食べよう。こ：心をこめて、そうじをしよう。）といった具体的な例を挙げて、基礎的・汎用的能力を育てるための取組を学習や児童会活動・学級活動を通して行っている。特に 5 年生は、来年度最上級生として下級生のためや学校全体のために行動することが期待されている。毎年 4 月に最上級生が一年生と一緒に清掃活動を行い、清掃の仕方やコツを教えることが通例となっている。新一年生の手本となるためには、普段から自分たちの学校を自分たちできれいにするという意識をもち、友達と協力して清掃に取り組んでいく必要がある。本題材では、学級の現状の中から課題のある「清掃」について取り上げ、学級で解決方法を話し合い、一人一人が自分に合った実践目標を意思決定し、自ら決定したことに取り組ませる。このことは、児童の主體的な思考を促し、児童の自主的な活動につながるものと考え、本題材を設定した。

## 3 研修との関わり

本研修では、サンデンホールディングス株式会社のグループ会社であるサンデン・リテールシステム株式会社とサンデンファシリティ株式会社・ECOS 事業部に配属され各種業務に従事した。

サンデン・リテールシステムでは、生産本部において自動販売機や冷凍・冷蔵ショーケースの生産ラインでの製造業務に携わった。また、製品開発部において、主に製品の品質試験業務を行った。工場や試験室に入ると必ず目を引く大きな「安全第一 5S 運動実施中」の文字は、サンデンの生産活動において最も重要とされる考え方である。5S とは整理・整頓・清掃・清潔・しつけのことであり、その目的として「1. 安全な職場を作る」「2. 快適な職場を作る」「3. 効率的な職場を作る」の三つが挙げられている。安全な職場を作ることは社員や職場の仲間を守ることにつながり、快適な職場を作ることは心の面で社員同士や経営者と社員の心の絆が培われるものとされている。また、効率的な職場を作ることは、社員同士が互いに助け合い、励まし合い、支え合う環境を作ることにつながるといえる考え方である。5S を実行するための方法として 3T（3 定）定置・定量・定表を掲げている。サンデンの 3T とは、物を置く場所を決めること、幾つ置くのか数を決めること、そして置く物と置かれる場所に表示をすることである。5S が徹底できるよう 3T ルールを決め、実践している。この 5S 3T の考え方を、学校や学級に当てはめると、生活環境や学習環境を整えることは、児童が共に助け合い、励まし合う学級や学校を作ることにつながるということである。サンデンでの取組を参考にして清掃の方法を見直すことで、一人一人が自己の役割を自覚し、クラスや学校の一員として主体的に整理・整頓・清掃に取り組んでいくことができると考える。

#### 4 指導方針

- (1) 最上級生に向けて日常生活を振り返り、共通の問題を見いだすために事前アンケートを実施し、本時の活動が児童にとって必要感のあるものとなるよう動機付けを行う。
- (2) 清掃の問題点や改善案を話し合う場面では、思考ツールを用いて話し合わせ、課題や問題点を視覚的に捉え、思考を整理できるようにする。
- (3) 実践意欲の継続化を図れるよう定期的に振り返りの時間を設け、自分が意思決定したことを実践できているかどうか、自己評価カードに記入させる。また、児童が自己有用感や自己肯定感をもてるよう、児童の実践の記録を掲示し、目標の実現に取り組む姿を認め励ましていく。

#### 5 評価規準 (事前の活動→本時の活動→事後の活動)

評価規準	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	個人目標を意識して継続的に清掃に取り組もうとしている。	
	集団の一員としての 思考・判断・実践	アンケート結果や写真を見て、自分たちの清掃の課題を見付け、よりよい清掃への取組を考え、一人一人が今後どのように行動していくかべきか個人の目標を立てている。	
	集団活動や生活につ いての知識・理解	整理・整頓を心掛け、協力して清掃することによって、皆が安全で快適な学校生活が送れることを理解している。	
時間	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動
	知識・理解	思考・判断・実践	
事前の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りの物を片付けたり清掃したりして気持ちよく生活できることや、身の回りの整理整頓の仕方や清掃の仕方を理解している。</li> <li>・友達と仲よくしたり信頼し合ったりして生活することのよさについて理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りを快適に整えようと主体的に考え、工夫している。</li> <li>・自己の行動目標に向かって、自主的に実践しようとしている。</li> </ul>	家庭 「快適な衣服と住まい」  <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級活動 「『南小よい子の約束』友達関係バージョンアップ大作戦」</li> </ul>
本時の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整理・整頓を心掛け、協力して清掃することによって、皆が安全で快適な学校生活を送れることを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの清掃の課題を見付け、よりよい清掃への取組を考え、一人一人が今後どのように行動していくかべきか個人の目標を立てている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてを確認する。</li> <li>・学級の清掃の現状を確認し、自分の清掃を振り返り、よりよい清掃活動への具体的な取組を考える。</li> <li>・発表を聞いて、個人の目標を立てる。</li> </ul>
事後の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで清掃することの意義を理解し、最上級生に向けて学級や学校の一員として働くことの大切さを理解している。</li> <li>・学習に向けて意欲的に取り組んでいくことの大げさに理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の行動目標を自覚し、責任をもって自分の役割や分担を果たそうと目標に向けて実践している。</li> <li>・自己の行動目標に向かって、自主的に実践しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝や帰りの会等で実践発表や振り返り活動を行う。</li> <li>・学級活動 「『南小よい子の約束』学習バージョンアップ大作戦」</li> </ul>

## 6 本時の学習指導

(1) **目 標** 普段の清掃活動を振り返り、よりよい清掃活動への具体的な取組を考え、一人一人が今後どのように行動していくかべきか、個人の目標を立てることができる。

(2) **準 備** 【教員】 パソコン資料（企業の写真、アンケート結果、掃除の様子を写した写真）  
 プロジェクタ、付箋紙、ワークシート、ホワイトボード、ペン  
 【児童】 筆記用具

### (3) 展 開

学習活動 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価) (太字はキャリア教育との関わり)
<p>1 つかむ（課題の把握）</p> <p>○事前のアンケート結果やクラスの清掃中の写真の様子から、共通の課題として「清掃」があることを認識する。</p> <p>― 予想される児童の反応 ―</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃はよくできていたと思っていたけどあまりよくできていなかったな。</li> <li>・1年生に指導できるほど、うまくできてないな。</li> <li>・6年生の清掃の様子に比べると自分たちは、まだまだだな。</li> </ul>	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前アンケートの結果や児童の清掃中の様子や清掃後の教室の様子を写した写真を提示し課題に気付けるようにする。</li> <li>・サンデンにおける棚の整理・ごみの分別、社員の意識を紹介し、5Sや3Tの取組をするのはどうしてなのかを問い掛け、清掃することの重要性や価値について意識を高められるようにする。</li> <li>・最高学年になるに当たって、自分たちが今後下級生の手本になっていくことを伝えたり、「心をこめて」清掃するとはどういうことかを問い掛けたりし、課題意識をもたせる。</li> </ul>
<p>めあて</p> <p>今より「心をこめて」掃除ができるように、お掃除バージョンアップの個人の目標を考えよう。</p>		
<p>2 さぐる（可能性への気付き）</p> <p>○今の自分たちに足りない清掃への取組を思考ツール（くま出図）を用いてグループで話し合い、洗い出す。        （付箋紙・ワークシート）</p> <p>― 予想される児童の反応 ―</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間どおりに始められないこともある。</li> <li>・机を運ぶときに引きずっている。</li> <li>・清掃用具入れが汚い。</li> <li>・教室の隅まできれいに拭けていない。</li> <li>・遊ぶ人がいる。注意しても聞かない。</li> </ul> <p>○出された意見を基に、どうしたら自分たちが前向きに取り組んでいくことができるかを考え、それを「お掃除バージョンアップ大作戦」と題して具体的な取組をホワイトボードにまとめる。</p>	30分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人が自分の清掃でバージョンアップが必要な取組について振り返る時間を設ける。</li> <li>・個人の目標を設定する場面で自分の課題に立ち返ることができるよう、考える時間を十分に確保する。</li> <li>・各々が書いた付箋紙を持ち寄り、4・5人のグループに分かれ、リーダーを中心に話し合うようにする。</li> <li>・どのような意見も否定しないことを伝え、児童の正直な意見を交流させる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な意見に対する具体的な取組について話し合わせ、「お掃除バージョンアップ大作戦」として、ホワイトボードにまとめさせる。</li> <li>・作戦を考える際には、「心をこめて」清掃をするという視点で考えるよう、児童から出された「心をこめて」清掃することの意味を確認する。</li> <li>・罰則的な取組ではなく、誰もが行ってみたいくなるような前向きな取組を考えるよう促す。</li> </ul>

<p>3 見付ける（解決方法等の話し合い）</p> <p>○各グループの発表を聞き、バージョンアップする清掃活動を見付ける。</p> <p>—予想される児童の反応—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ビフォアアフター大作戦」</li> </ul> <p>毎週（毎日）清掃前と後に分担場所の写真を撮って掲示し、どの清掃場所がきれいかみんなで決めるとやる気が出そう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いいね！大作戦」</li> </ul> <p>清掃分担場所の図を掲示して、清掃場所の清掃後の様子を見て、きれいになっていたら図に「いいね！」（シール）を貼ると頑張りを認めてもらえる。</p>	<p>13分</p>	<p>◎自分の考えを発言することができない児童には、自分の考えに近い考えに賛同したり、他の人の意見を聞いて気付いたことを発表したりしてもよいことを伝える。</p> <p><b>（人間関係形成・社会形成能力）</b></p> <p>◇整理・整頓に心掛け、協力して清掃することで、皆が安全で快適な学校生活を送れることを理解している。（観察・ワークシート）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級全体でグループごとに「お掃除バージョンアップ大作戦」を発表させる。</li> <li>・グループごとに、「お掃除バージョンアップ大作戦」の内容とその作戦を考えた理由について簡潔に話すよう確認する。</li> <li>・他のグループの発表を、自分たちにできるかどうか考えながら聞くようにさせる。</li> <li>・各グループの考えのよさを賞賛する。</li> <li>・作戦が実行されることを想定し、具体的に必要になる準備等について触れる。 （例：掲示物を作る場合の分担）</li> <li>・グループごとに考えられた作戦を授業後に学級に掲示し、児童の主体的な清掃活動を促せるようにする。</li> </ul>
<p>4 決める（個人目標の意思決定）</p> <p>○個人目標を決め、ワークシートに記入する。（個人ワークシート）</p> <p>— 予想される児童の反応 —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（目標）自分の分担だけでなく早く終わったら終わっていない友達を手伝う。 （理由）→自分だけで清掃をしているつもりでいたけど、みんなで協力して清掃することが大切だから。</li> <li>・（目標）時間どおりに清掃に取り掛かる。遅れるときは、きちんと伝える。 （理由）→自分が遅れるとグループの皆に迷惑をかけることになり、心を込めた清掃にならないから。</li> </ul> <p>○話し合いを振り返る。</p>	<p>12分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出された作戦の中から気に入った作戦をワークシートに記入させ、それを基にバージョンアップさせたいと思う個人目標を一つ決めることを確認し、目標を立てた根拠が明確になるように理由も併せて記述させる。</li> </ul> <p><b>（自己理解・自己管理能力）</b></p> <p>◎目標が決められない児童には、個別に声を掛け、自分の清掃でバージョンアップが必要な取組を思い起こさせ、心のこもった清掃をするためにどのようにしていくことがよいのか問い掛け、本人に合った目標が立てられるよう支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数名に個人目標を発表させ、学級全体で個人目標に向かって取り組む意欲が高まるようにする。</li> </ul> <p>◇一人一人がどのように行動すべきか考え、個人の目標を立てている。（ワークシート）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サンデンの社員として働いて感じた、清掃に対する自分自身の意識の変化やサンデン社員の清掃に関する実際の声を伝える。</li> <li>・学校でも身近な環境を整えていくことは、友達との人間関係や学習への取組にもよい影響があることを伝え、心を込めた清掃への意識を高められるようにする。</li> </ul>